

場所 1 :  
e. 長い線分の反復

場所 2 :  
e. 長短の線分の反復

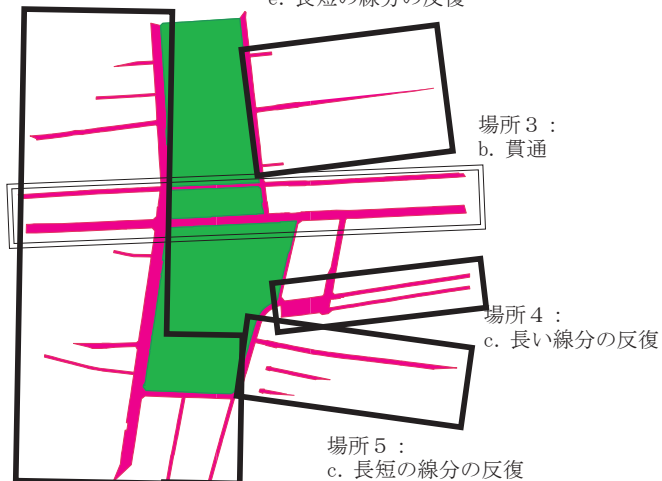


fig4. 13.4 木場公園の視覚領域の分類  
s = 1 : 25000

## ■視覚領域の類型

木場公園の視覚領域は、右図のように分けられる。

場所 1 : c. 長い線分の反復

場所 2 : e. 長短の線分の反復

場所 3 : b. 貫通

場所 4 : d. 短い線分の反復

場所 5 : c. 長い線分の反復



fig4. 13.5 江戸期と視覚領域  
1 : 15000

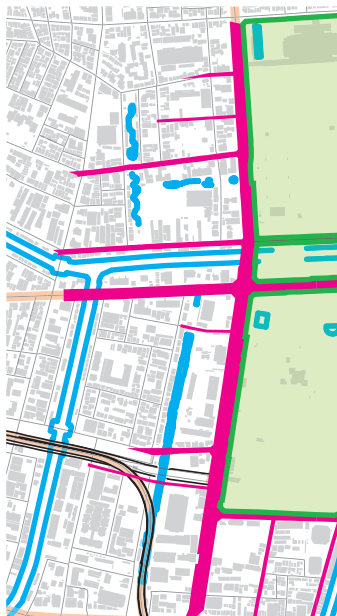


fig4. 13.6 現在と視覚領域  
1 : 15000

○場所 1 : c. 長い線分の反復

### 分析A

河川に沿った街路パターンの変化

河川にそってグリッド状の道路が曲がり、視覚領域は途切れる。

### 分析B

公園：植え込み

周辺：歩道が広く取られる

公園に面した道路では歩道が広く取られ、歩きやすい道になっている。



fig4. 13.7 公園に面した歩道



fig4. 13.8  
公園に向かう道路からの  
緑の見え

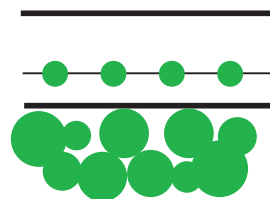


fig4. 13.9  
公園に面した歩道を整備

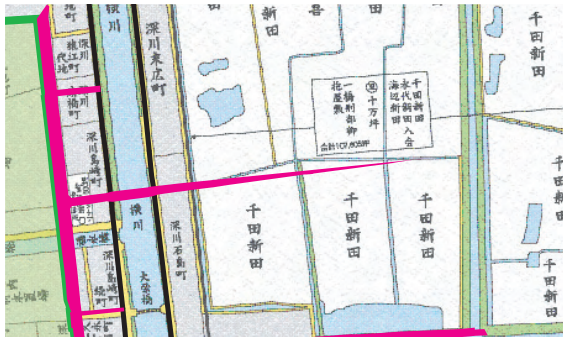


fig4. 13. 10 江戸期と視覚領域  
1 : 15000

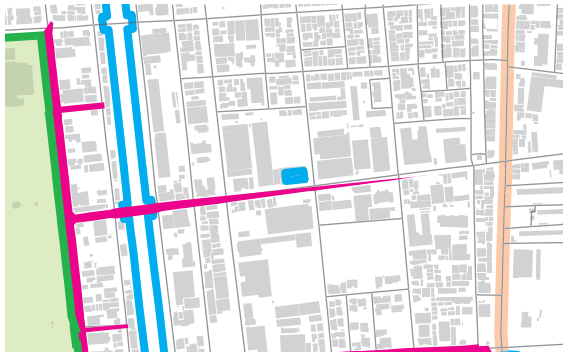


fig4. 13. 11 現在と視覚領域  
1 : 15000

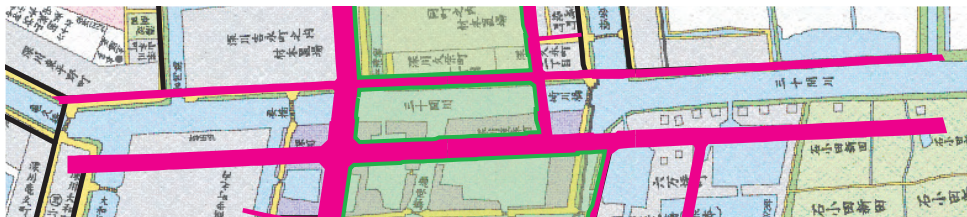


fig4. 13. 14  
江戸期と視覚領域  
1 : 15000

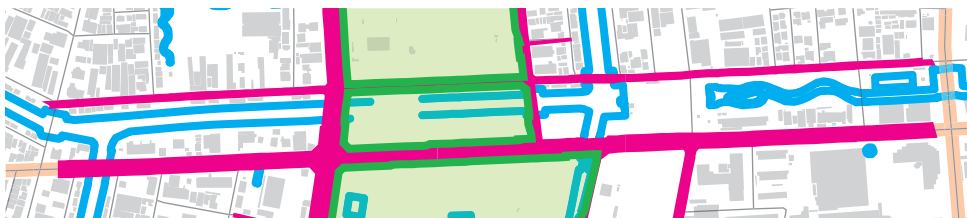


fig4. 13. 15  
現在と視覚領域  
1 : 15000

## ○場所 2 : e. 長短の線分の反復

### 分析 A

#### 河川

河川によって視覚領域は途切れるが、橋がある場所は対岸まで続く。

### 分析 B

公園：植え込み

周辺：歩道が広く取られる

公園に面した道路では歩道が広く取られ、歩きやすい道になっている。



fig4. 13. 12  
公園に面した道路



fig4. 13. 13  
公園に向かう道路からの  
緑の見え



fig4. 13. 16  
現在と視覚領域  
1 : 10000



fig4. 13. 17  
公園に向かう道路と小  
公園

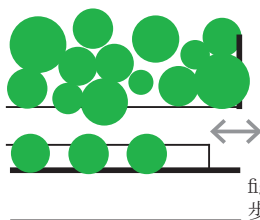


fig4. 13. 18  
歩道と連続した公園

## ○場所 3 : e. 貫通

### 分析 A

#### 河川に沿った街路パターンの変化

河川にそってグリッド状の道路が曲がり、視覚領域は途切れる。

### 分析 B

公園：樹木、公園の一部が道路と連続

周辺：幅の広い歩道、植栽

公園を貫通する道では、歩道が広く取られ、植栽が歩道を飾り歩きやすい道に整備されている。その歩道と連続するように公園が開いている。

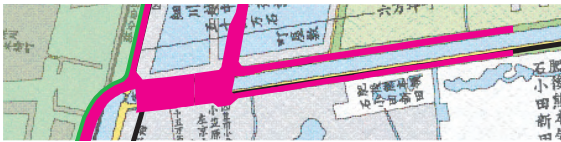


fig4. 13. 18 江戸期と視覚領域  
1 : 15000

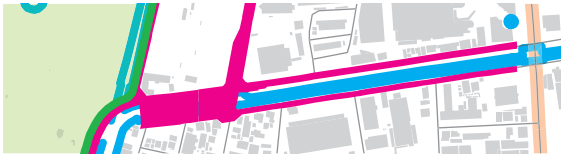


fig4. 13. 19 現在と視覚領域  
1 : 15000



fig4. 13. 20 公園に向かう道路からの  
緑の見え



fig4. 13. 21 江戸期と視覚領域  
1 : 15000

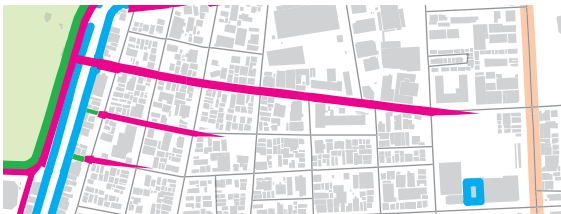


fig4. 13. 22 現在と視覚領域  
1 : 15000



fig4. 13. 23  
公園に向いた道路の  
突き当たりに公園



fig4. 13. 24  
公園に面した道路

#### ○場所 4 : c. 長い線分の反復

分析 A

境界なし

河川にそって直線の道路が続く。

分析 B

公園：フェンス

周辺：河川

#### ○場所 5 : e. 長短の線分の反復

分析 A

河川に沿った街路パターンの変化

河川にそってグリッド状の道路が曲がり、視覚領域は途切れる。

分析 B

公園：フェンス

周辺：駐車，公園に向いた道路の突き当たりに小公園

公園に向いた道路が河川に突き当たる場所が、小公園となっており、視線が通るようになっている。公園に面した道路沿いは駐車が多い。

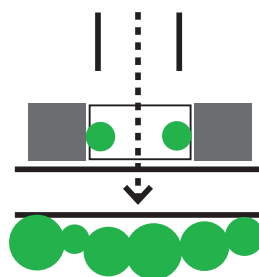


fig. 4. 13. 25  
公園へ視線が通る小公園

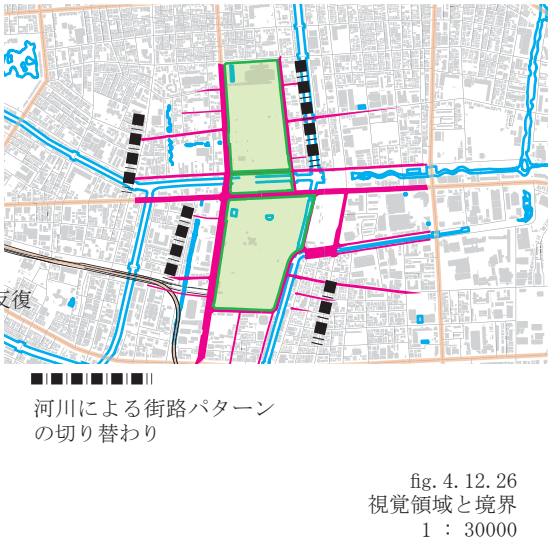
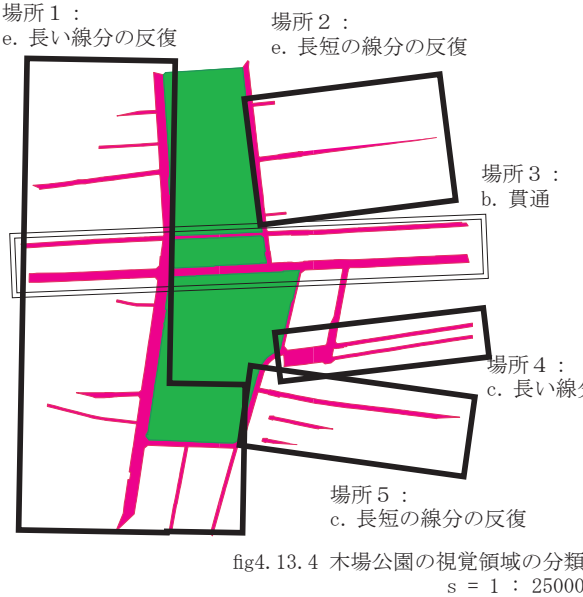


小括

木場公園の視覚領域の境界をまとめると以下ようになる。

場所	視覚領域の類型	江戸期の土地利用	視覚領域の境界
1	c. 長い線分の反復	町屋、町屋敷	街路パターンの変化（河川）
2	e. 長短の線分の反復	町屋敷、田	河川
3	b. 貫通	材木場	街路パターンの変化（河川）
4	d. 長い線分の反復	町屋敷、田	なし
5	e. 長短の線分の反復	町屋敷、田	街路パターンの変化（河川）

fig. 4. 12. 25  
木場公園の  
視覚領域の境界一覧



木場公園一体も、震災後の帝都復興事業によりグリッド上に幹線道路が通された。しかしそれよりヒエラルキーの低い通りは、河川の向きに合わせてグリッドの傾きが変わり、方向の違う小さなグリッドが寄せ集まった街路パターンをしている。そうしたグリッドの切り替わりにより、視覚領域が途切れている。

#### 4.13 考察

今までの調査によって明らかになった、公園の視覚領域の境界と視覚領域のタイプの関係について表にまとめる。

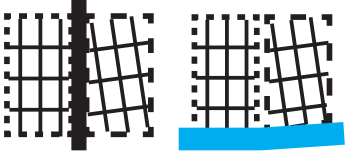
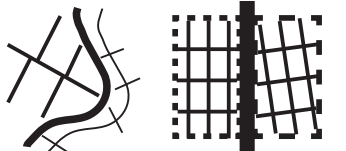
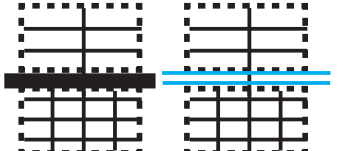
視覚領域のタイプ	視覚領域の境界	江戸期の土地利用
a. 太い線分	なし、インフラ（高架、鉄道）	江戸期の主要道 存在せず
b. 貫通	なし	江戸期の主要道 存在せず
c. 長い直線の反復	街路パターンの切り替わり （江戸期の主要道）、（河川） 	武家地
d. 短い直線の反復	街路パターンの切り替わり （地形）（江戸期の主要道）  規則性なし	百姓地、武家地  武家屋敷
e. 長短の線分の反復	街路パターンの切り替わり （江戸期の主要道）、（河川） （幹線道路） 	武家地
f. 点在	規則性なし	百姓地

fig4. 13. 1  
視覚領域の境界一覧